

2023 年度  
RIDING SPORT CUP  
MOBARA  
MOTO WEST S-1 GP

特別規則書

■ 主催(有)茂原ツインサーキット ■

# 2023 RIDING SPORT CUP MOBARA MOTO WEST S-1 Grand Prix

## 特別規則書

### 第1章 総則

第1条 競技会の名称 2023 ライディングスポーツカップ茂原モトウエストエスワングランプリ

英文表記 :2023 RIDING SPORT CUP MOBARA MOTO WEST S-1 Grand Prix

第2条 競技会の開催クラスと開催数および昇格基準\*下記クラス数において、全5戦開催とする。

- 1) ビギナーキッズ (PB・74・ターミネーターバイクデビューの初心者対象)
- 2) ターミネーターミニ
- 3) ポケバイイーグル \*シリーズ対象スカラシップ対象
- 4) 74Daijro \*シリーズ対象スカラシップ対象
- 5) MOBARA 4st50cc スクーター (FN4-50) \*CP 対象
- 6) MOBARAレディースクラス \*CP 対象
- 7) M4 チャレンジ (ミニバイク 初心者・ビギナー 40秒000~) 注1・注2
- 8) M3 エンジョイ (ミニバイク 初級 38秒300~39秒999まで) 注1・注3  
M3 エンジョイ50(50歳以上の方 38秒300~39秒999まで) 注1・注3
- 9) M2 (ミニバイク中級者 37秒300~38秒299まで) 注1・注4
- 10) M1 (ミニバイク中上級者 ~37秒299まで) 注1・注5
- 11) MOBARA-SP (ミニバイク SP12.17) \*注6 \*シリーズ対象スカラシップ対象
- 12) MOBARA SP ビギナー (ミニバイク SP12.17) ( 36秒000~)
- 13) MOBARA-OPEN \*注7 \*シリーズ対象スカラシップ対象
- 14) NSF100HRCトロフィー (JC/GC) \*シリーズ対象スカラシップ対象
- 15) HRC GROM CUP ( 4/5 ) \*シリーズ対象スカラシップ対象
- 16) S-1 ビギナー~フレッシュマン \*注1・注8\*37秒000まで、35秒台は賞典外
- 17) S-1 PRO エキスパート \*注8 \*シリーズ対象スカラシップ対象
- 18) 茂原インポートミニ 125クラス \*注9 \*シリーズ対象スカラシップ対象
- 19) 茂原150 SP クラス \*注10 \*シリーズ対象スカラシップ対象
- 20) MOBARAサイドカー \*シリーズ対象スカラシップ対象

ミッション付は 2 スト 100cc まで ・ 4 スト 160cc 以下。FIM Mini-GP/CBR150/YZF-R15 など参加可

スクーター(S-1 車両)2 スト 200cc 以下・4スト 240cc 以下。安全規定と上限排気量を守ればどんな車種も参加可。

\*注1:決勝レース中に基準タイムを超えた場合は次戦より昇格とする。

<公式練習、TTにて規準タイムを大幅に超えている場合、競技長判断で昇格させる場合がある>

\*注2:M4チャレンジクラス、決勝中に38秒台に入った場合は5順位降格とする。 < 例:1位→ 6位へ >

\*注3:M3エンジョイクラス、決勝中に36秒台に入った場合は5順位降格とする。 < 例:1位→ 6位へ >

\*注4:M2クラス、決勝中に35秒台に入った場合は5順位降格とする。 < 例:1位→ 6位へ >

\*注5:M1クラス、旧 M2クラスとなります。

\*注6:MOBARA SP クラス (SP12・SP17)\*最低重量: 2st 130kg / 4st 130kg、足らない場合5順位降格とする。

MOBARA SP への参加条件ジュニアライダーの定義は、中学3年生まで

最低重量:2st 120kg ノーマルマフラーでの参加を認める。

4st 125kg NSF100HRC Trophy仕様での参加を認める。

\*注7:MOBARA-OPENクラス、OPEN車両 MiniBike / S-1 車両は参加可となります。

\*注8:S-1GP 規則に準ずる。

\*注9:茂原インポートミニ 125 クラスは桶川スポーツランド様のインポートミニクラスレギュレーションに準ずる。

\*注10:茂原150SP クラスは、4st155ccまでのメーカー出荷時排気量とする。旧インポート 150・KAY0150とする。

**茂原 150SPのタイヤ使用について、ドライのスリックタイヤは不可・レイン レーシングレインは使用可能**

**\*各クラスのレギュレーションは、安全面、戦力バランス等を考慮しシーズン途中でレギュレーションを変更する場合がある**

\*クラス昇格後、2戦連続で基準タイムを超えない場合、降格クラスへ戻る事を任意で可とする。

\*上位クラスに基準タイムを記録する前に参加することは可とするが、基準タイムの1秒落ち以内を記録している事が条件とし、大会主催者の判断によるものとする。昇格・降格する際は、必ず主催者へ申告したのちにエントリーする事

### 第3条 開催場所、開催日

開催場所: 〒297-0044 千葉県茂原市台田 640 茂原ツインサーキット 西コース(700m)

開催日 : **第1戦 3月19日 第2戦 5月28日 第3戦 7月9日 第4戦 9月3日 第5戦 11月12日**

\*茂原サイドカーのみ バイクレース第1・第2・第3戦 ・カートレース 第5・第6戦にて併催となります。

: **第1戦 3月19日 第2戦 7月9日 第3戦 9月3日 第4戦 10月15日 第5戦 12月16日**

### 第4条 大会会場及びオーナイザー名称と住所

大会会場:茂原ツインサーキット 西コース

オーガナイザー:(有)茂原ツインサーキット

〒297-0044 千葉県茂原市台田640

電話 0475-25-4433 FAX 0475-25-4442

### 第5条 大会組織委員会、審査委員会、大会役員及び競技役員

公式プログラムにて示す。

## 第2章 参加申し込み

### 第6条 参加資格 ※全クラス

健康かつレースに出場するに相応しい装備(注 1.2)と良識的判断ができる者。

フラッグの意味を理解し、サーキットのルールとマナーを守れる者。

サーキット走行未経験者の場合、レース前に茂原ツインサーキットの練習走行にご参加できる者。

注1:革製のツナギ・ブーツ・グローブ、フルフェイスヘルメット、脊椎パッド、ヘルメットリムーバー  
チェストプロテクターは、推奨とする。

#### 第6条 参加資格の追加記載について ※全クラス

注2:ライダーの装備について、ヘルメットメーカー標準装備以外の改造・ツノ・シッポ等の付加突起物、  
ツナギの上に着る衣類・Tシャツ等は、安全対策向上を目的とし、禁止とする

#### ※以下 ポケバイイーグル・74Daijro クラスの参加資格

当該年度有効な千葉北発行のライセンス所持者。

各地のチャレンジカップレース・シリーズ戦レース参加経験者。

上記に該当しない方は、事前に茂原ツインサーキットの練習走行に参加の上で主催者から参加許可を得た者。

(但し、キッズクラスはシューズ、布製のグローブ、一部布製の革ツナギを可とする)

### 第7条 参加申込み受付期間

1)大会開催日を含まず30日前より7日前までとする。

- 2)参加申し込みは、大会のオーガナイザー(本規則 第1章 第4条参照)とする。
- 3)参加申し込みは、現金書留郵便 東コース事務局宛、西窓口手渡しとし、締切り日必着とする(FAX 不可)。
- 4)参加申込みは参加料とお見舞金を添えて行き、併せて以下の書類に記入し提出しなければならない。

\*参加申込書(ホームページ <http://www.mobara-tc.co.jp/>よりダウンロードできます)

## 第8条 インターネット申込み受付期間

- 1)Web 予約は、ホームページの Web 予約(インターネット申込)から手順に従って専用の申込フォームから予約を入れる。  
 なお、Web 申込はレース開催日 1 週間前をもって締切となる。
- 2)申込完了後に届く返信メールの内容を確認し、開催日の 1 週間前に指定口座に参加料を振込む。

**振込先 ⇒ 千葉興業銀行 茂原支店 (普)5928624 有限会社 茂原ツインサーキット**

## 第9条 参加料

参加クラス	RSM 保険加入	RSM 未加入者	
ビギナーキッズ ( PB / 74 / TN )	¥3,000	¥3,600	◆
ターミネーターミニ / ポケバイイーグル / 74Daijro	¥5,000	¥5,600	◆
M4チャレンジ / 茂原レディース	¥5,000	¥5,600	◆
MOBARA 4st50cc スクーター (FN4-50)	¥6,000	¥6,600	◆
M3エンジョイ/M2/M1/MOBARA SP・SP-B/MOBARA OPEN/インポートミニ 125	¥7,000	¥7,600	
茂原 150SP/S-1/S-1PRO/HRC Trophy ( GROM CUP4・5/NSF100 JC/GC )	¥7,000	¥7,600	
MOBARA SIDE CAR ( MTC/F4 )	¥10,000	¥11,200	

\* ◆…参加賞付き

\* W エントリーで参加する場合、2クラス目より RSM 保険加入の参加費から ¥1000 引きとする。

\* 2レース開催の場合は、エントリーフィー2レース目より RSM 保険加入の参加費から ¥2000 引きとする。

※大会7日前までに申し込み完了できなかった場合、遅延ペナルティ ¥3000 が追加で掛ります(月曜日から水曜日まで)

【 遠征ライダー応援割引 】事前エントリー・着金をもってエントリー済みとなります。

遠征とは関東地方(東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県)の1都6県以外からのお住まいの選手が対象。事前エントリー済みに限り(用紙記入漏れ参加費未納は NG)、前日練習 ¥2000 引きで走行可。

2023年度、ピットクルー登録には、以下の料金がかかります。

**\*ポケバイ・74・ターミネーターミニのピットクルーパスは、必ず必要となります。必ず登録して下さい。**

1人目 お見舞金 ¥600 登録料 無料      2人目 お見舞金 ¥600 登録料 ¥500

【 ライディングスポーツ保険加入者 】

\*ライディングスポーツメンバー (保険)加入の方は、お見舞金はかかりません。

ライディングスポーツメンバー会員がピットクルー登録する場合、500円のピット登録料のみ必要となります。

できる限りライスボ保険加入を推奨いたします!!!

\* 2022年度シリーズチャンピオン: ¥1500(登録料)\*お見舞金 ¥600( 1クラスのみ )

\* シリーズチャンピオンピットクルー登録には以下の料金がかかります。

ピットクルー1人目 お見舞金 ¥600 + 登録料 無料 / 2人目 お見舞金 ¥600 + 登録料 ¥500 が別途かかります。

## 第10条 参加受理と参加拒否

- 1)参加申込者に対して大会事務局より参加受理又は参加拒否が通知される。
- 2)参加を拒否された申込者に対しては、参加料が返還される。
- 3)参加を受理された後、参加を取り消す申込者に対して参加料は返還されない。

## 第11条 参加定員及び最低成立台数について

- 1)大会運営上参加受付を制限する場合がある。その場合の優先順位は申込み順とする。  
各クラスのレース成立台数は3台以上とする。10台未満は、他クラスとの混走、別賞典になる場合有。
- 2)エントリーを受理したのものには参加受理書を発行する。  
参加受理書発行後、参加を取り止めた選手に対しエントリーフィーの返還は一切しないものとする。

## 第12条 ライダーズミーティング

- 1) タイムスケジュールに示された時間に、ライダーズミーティングを行う。
- 2) 必ずライダー本人が出席しなければならない。欠席・遅刻をした場合失格等の罰則が科せられる場合がある。
- 3) 止むなく欠席・遅刻する場合は、事前に申請し、競技長の許可を受けなければならない。  
\*遅刻によるペナルティーとし、¥3000円とする。

## 第13条 参加車両

本特別規則書の安全規定およびその他の項目は以下の通りとし、準拠しているバイクであること。

- 1) GROM CUP / NSF100 クラスは各 HRCトロフィー特別規則書・車両規則に準拠している事。  
GROM4/GROM5 /NSF100 HRC Trophy JC クラスは、ダンロップ指定タイヤとする。  
車両へのDL以外のタイヤメーカーのステッカー貼り付けは禁止。ヘルメット・ツナギ等は、証拠写真を撮りHRCへの確認を行う。
- 2) S-1 PRO・S-1 クラスは、S-1GP 特別規則書・車両規則に準拠している事。
- 3) ポケバイイーグル・74Daijiroクラスは、千葉北 Kid's 選手権 特別規則書・車両規則に準拠している事。
- 4) 4st50ccスクータークラス(FN4-50)のレギュレーションは、安全面、戦力バランス等を考慮し、  
シーズン途中でレギュレーションを変更する場合がある\*別紙 FN4-50 車両規則参照
- 5) 茂原インポートミニ 125 クラスは、桶川スポーツランド様のインポートミニクラスに準拠している事 \*別紙参照
- 6) 茂原 150SP クラスは、茂原レギュレーションに準拠している事 \*別紙参照
- 7)MOBARA-SP クラス / MOBARA OPEN クラス \*別紙 MOBARA-SP/OPEN クラス 車両規則参照
- 8)M1・M2・M3エンジョイ・M4チャレンジは、タイム規準 タイムバランス等を考慮しシーズン途中でタイムを変更する場合がある  
\*各クラスのレギュレーションは、安全面、戦力バランス等を考慮しシーズン途中でレギュレーションを変更する場合がある
- 9)MOBARA SP ビギナークラスは、MOBARA SP の車両規則・最低重量に準ずる。
- 10)MOBARA Sp クラスへのジュニアライダーの参加条件 \*安全面・戦力バランスを検討した結果第2戦より下記の内容に変更。  
\*ジュニアライダーの定義: ジュニアライダーとは、中学3年生まで。  
\*2st 120kg / ノーマルマフラーでの参加を認める。 \*4st 130kg / NSF100 HRC Trophy 仕様での参加を認める。

### [安全規定とは]

- レバーやステップの先端、マフラーの出口なども含め突起物が危険な状態でないこと。
- ガソリンやオイル、ラジエター液が大気放出されない処置がされていること。
- 不要なステー類がむき出しになっていないこと。●チェーンガードが確実に装着されていること。
- 外装が確実に装着されていること。●ナンバー・保安部品は必ずとる事。●主催者が危険と判断しない事など

## 第14条 ゼッケンについて

ゼッケンベースの色については自由とするが、見やすい書体・色とし・蛍光色・淡い色・メタル調などの使用は禁止。主催者判断で改善を求める場合がある。希望ゼッケンの場合は、事前に事務局に確認をする事。

3面(アッパーカウル・両サイドシートカウル)に貼付け、走行前車検で合格になった物のみ使用可

カウル形状が小さい場合は、フロント・リア1面の場合・サポートゼッケンを左右設ければ可。

2018年度よりゼッケンは各自作成とする。販売について1枚¥400円 3枚 1セット¥1000円にて事務局で販売

<文字サイズは、最低高(H)120mm 最低幅(W)50mm (1番などの1桁は最低幅 25mm)

## 第3章 競技に関する規定

### 第15条 競技内容

1) 競技とは参加受付、公式車検、ライダーズミーティング、開会式を含む。

2) ■公式練習 6分 (但し、参加台数などで変更になる場合あり)

3) ■タイムトライアル(予選ヒート) 6分間計測(但し、参加台数などで変更になる場合あり)

4) ■決勝ヒート ビギナーキッズ 3周 ・ターミネーターミニ・M4 チャレンジ・レディース 6周 ・PB イーグル・74 Daijiro 8周

その他 8周 第2戦より茂原インポートミニ 125/茂原 150SP は周回数 8周。

\*MOBARA SP と MOBARA SP ビギナー混走時は8周となる。

\*4st50 /S-1 PRO / MOBARA SP / MOBARA-OPEN は、10周とする。

～ クラス分けについて [\*4st50cc スクーターを除く] ～

\*参加台数 28台以下は、1レース。

\*参加台数 29台以上の場合は、A/B決勝としタイムトライアル上位60%をA決勝、それ以外をB決勝とする(小数点切り捨て)

B決勝の周回数は、A決勝の60%として開催するがクラス数や天候、日照時間により変わる場合がある。

< 例 : A決勝10周の場合 B決勝 6周 >

### 第16条 公式練習・タイムトライアル・決勝のスタート

\*すべてのヒートのショートカットは禁止とする。

公式練習: ウエイティングエリアからのスタートとしグリーンフラッグにて計測開始スタート合図とする。

タイムトライアル: ウエイティングエリアからのスタートとし、コースインの合図はグリーンフラッグにて行う。

計測開始(スタートの合図)は、日章旗で行う。

\*参加できない場合タイムトライアル失格とし、決勝ヒート最後尾となり、複数台いる場合はゼッケン順とする。

#### 決勝ヒート

1) 各クラス、スタンディングスタートとする。

ウォームアップに間に合わない者やスタート時にグリッドより、スタートできなかった者は、ピットスタートとする。

2) 全てのクラス共に、決勝ヒートは、1周もしくは2周(当日の気温等により変わる)のウォーミングラップの後、コントロールラインよりスタンディングスタートとする。

3) スタートの合図はフラッグ(日章旗)で行い、全車一斉にスタートするものとする。

但し、シグナルを使用する場合は、赤点灯から消灯でレーススタートとする。

4) スタート後、先頭の車両が1周しスタートラインを通過するまでにスタートできない者は当該ヒートを出走することはできない。

5) ピットスタート

ピットスタートとは、本コースよりスタートすべき車両全てが1コーナーに進入し終えた後、旗またはシグナルによって、ピットロードコントロールライン上よりスタートすることを言う。

## 6) フライング

フライングした者にフライングボードと共にゼッケンボード提示する。\*ピットインはしなくてよい。

レース終了後に所要時間に30秒加算が科せられる。(タイムペナルティー)

## 7) 中断

フォーメーションラップ開始後、複数台以上の故障車またはトラブルが発生した場合は、競技長の判断のもと赤旗を用いて、当該フォーメーションラップを中止する場合がある。

## 条17条 フィニッシュ

各レースの1位の者がチェッカーフラッグを受けてから2分でレースを終了する。完走者のみを入賞の対象とする。

完走者とは1位の3分の2以上を走行していなければならない。

## 第18条 順位の決定

1) 順位は、チェッカーを受けた順によって決定する。

コントロールラインを通過する時はライダーとマシンと一緒に通過しなければならない。(押しで通過してもよい)

2) レースの順位は次の順序により、周回数の多い順に決定される。

(1) チェッカーを受けた完走者(規定周回数の2分の1以上を完了しチェッカーを受けた者)

同一周回数の場合は、その周回を先に完了(コントロールラインを通過)した者を優先する。

(2) チェッカーを受けない完走者(規定周回数の2分の1以上は走行したが、チェッカーを受けなかった者)

(3) 不完走者(チェッカーに関わらず、規定周回数の2分の1以上を完走していない者)順位はつくがポイントはつかない

(4) 失格者 (5) 不出走者

失格者、不出走者には、順位はつかないものとする。

3) レースは着順によるものとし、計時を行わない場合がある。

## 第19条 レースの成立

茂原モトウエスト GP の成立は、各クラス区分ごとに3台以上の車両が出場しなければならない。

但し、10台未満のクラスは、混走賞典別となる場合があります。(オーガナイザー判断とする。)

レースは1位の者が規定周回数の3分の2以上を周回した時点で成立とする。

従って3分の2以上を周回した場合の赤旗などによる途中 中断は、その前週の着順をもって成立とする。

■3分の2未満で中断した場合、以下のいずれかの方法で再スタートする。

1) 中断以前の順位、ペナルティー等すべて無効とし規定周回数により再スタートする。

2) 中断の前週の順位により、スターティンググリッドを決定し、残り周回数のレースを行う。

この場合、再スタートに伴うサイティングラップも周回数として計算する。

3) 大会審査委員会が競技続行不可能と判断した場合、中断の前週の順位をもってレース終了とする。

この場合のシリーズポイントは規定の半分(小数点四捨五入)を与える。

## 第20条 再車検(抗議があった場合、又は抜き打ちの場合のみ行う)

レース終了後入賞車両を、車両保管する。また、入賞車両はエンジンを分解し排気量を測定するほか、

規定を超える改造などについて検査を行う場合がある。参加者は車検長の指示に従い分解し検査に出さなければならない、

これに拒否する場合には失格となる。検査の結果において規定に反する事項があった場合は失格とする。

## 第21条 公式練習・タイムトライアル及びレース中における規則

- 1) 正当と認められる理由がない限り、必ず参加しなければならない。また、参加が不可能な場合は不出走届けを大会事務局へ提出しなければならない。
- 2) コースは常に先入者を優先とし、追い抜きする者は前方の車を妨害してはならず、また前方の車は後方の車の進路を無理に妨害してはならない。
- 3) 大会役員が違反、妨害行為(プッシング、ブロッキング、その他の非スポーツマン的行為)とみなした者にはペナルティーを科す。さらにその行為が2回以上に及ぶ時は競技失格とする。
- 4) いかなる場合においても逆走してはならない。但し、コース役員の指示がある場合は除く。
- 5) レース中やむを得ない場合を除きコースを外れてショートカットをする事は認められず、当該行為はペナルティーの対象となる。
- 6) 衝突を避ける為にやむを得ずコースアウトした場合はその最も近い場所からコースに復帰しなければならない。
- 7) スタートを含めてレース中にコース内に停止した車両の選手は他の選手に自分が動かないことをアピールしそれらが通過した後に車両を安全な場所に移動しなければならない。さらに他を妨害することなく自力で再発進出来る場合のみレースに復帰できる。
- 8) コース上における再発進などは自分自身のみが行うこと。また、選手は出走時工具などを携帯してはならない。
- 9) 選手が修理の為ピットに向かう場合コース沿ったグリーン上を周回方向にのみ車両を押して移動する事ができる。
- 10) コース上でリタイアする選手はコース外の安全な場所に車両を移動しレース終了まで待機する。  
また、近くのコース役員にリタイアの届けを出す事。
- 11) ピットイン・ピットアウトは決められた場所で行わなければならない。イエローラインカットは失格とする。
- 12) レース中にパドック(ショートカットを含む)に入った車両はレースを放棄したものとみなし再びコースに入る事は許されない。
- 13) レース中に事故などに遭い故障があると思われる車両は安全検査の為、役員により停止を命じられる場合がある。  
また、危険とみなされた車両はレースから除外される場合がある。
- 14) 参加選手の補助に関してはコースマーシャルのみが対応する事ができる。  
レースがスタートしてからピットクルー親権者等などがコース内に入った場合には参加者にペナルティーを課すことがある。
- 15) レース進行中の大会役員及びコース員の裁定に対しての抗議は、これを一切受け付けない。

## 第22条 その他競技に関する一般事

- 1) スタート合図は、オーガナイザーの旗または信号を用いる場合がある。
- 2) コースアウトに対するペナルティーは競技長の判断による。
- 3) 競技長が反則または妨害行為とみなした者については、ペナルティーを科す。  
さらにその行為が2回以上に及ぶときは失格とする。
- 4) ライダーサインは次の通りとし、これを怠った者についてはペナルティーが科せられることがある。
  - ① コース上で停止した場合のサインは、片手を頭上に高く上げる。
  - ② ピットイン・ピットアウトのサインは左手を頭上に高く上げる。
  - ③ スローダウンするライダーは、左手を高く上げる。
- 5) 公式練習、タイムトライアル及びレース中(フォーメーションラップを含む)コース上で停止した場合は、  
他を妨害することなく、自力で再発進できる場合にのみレースに復帰できるものとする。
- 6) レース中は、コースを外れてショートカットまたは、パドックに戻ることは認められず、当該行為はペナルティーの対象とする。
- 7) 公式練習、タイムトライアル及びレース中(フォーメーションラップを含む)にリタイアしたライダーは、自分の車両を速やかに安全な場所に移動し、そのヒートが終了するまで車両から離れてはならない。また、その際に、ヘルメットは着用していること。
- 8) 競技中の燃料補給は禁止とする。



#### 9)消火器の携帯

各ライダーは全ての競技において、下記の条件を備えた消火器を1本以上備えていなければならない。  
また、ピット・パドックでの火気厳禁の徹底に努めなくてはならない。

### 第23条 レースの終了

レース着順1位の者がフィニッシュライン通過後2分以内にバイクが自力で同ラインを通過した者はそのラップが加算される。

## 第4章 ピットに関する事項

### 第24条 ピットイン

ピットインする場合は、ピットロードを徐行しなければならない、これに違反した場合は、当該ヒート失格となる。

### 第25条 ピットでの作業

ピットは指定された場所を使用しなければならない。また、ピット内で作業し得る者は当該クラスに出場しているライダーとピットクルーのみとし、ピットクルーは指定されたクレデンシャルを装着しなければならない。

#### 【 公式練習・タイムトライアル中の再コースインについて 】

\*マシントラブル等でピットインした車両は、再コースインは可能です。 各自のパドックでの作業も可能。

#### 【 決勝中、再コースインについて 】

\*決勝中は、トラブル等で車両は、各自のピットには戻れません。

ピットインし車検場脇のピットボックスで軽作業してください。車検長に確認後、再コースイン可能 コースに戻る事は可能です。

各自のピットに入った場合は、リタイヤ扱いとし再コースインは出来ません。パドックに戻った時点でリタイヤとみなされます。

決勝中、燃料の補給をしてはならない。

#### 【 ピットボックス 軽作業エリア 】

ピットボックス、車検場隣になります。

#### 【 サインエリアでのサイン出し 】

事務局前サインエリアで、走行中のライダーに対してピットサインを送る場合は、ピットクルー1名に限ります。

事務局前のサインエリア内では、サンダル・クロックスは禁止となります。

必ずピットクルーパスの必着。無い場合は、ウエイティングエリア・グリット・サインエリアには入れません。

### 第26条 ピット内

ピットにおける火気の使用禁止する。燃料容量は20リットル以内消防法に適合した金属製携行缶でなければならない

### 第27条 車両保管

レース終了後の車両保管及び検査は、次の通りとする。

- 1)該当クラスは車両保管を行う(再車検は特定しない)。保管が解除になったバイクは速やかに引き取らなければならない。
- 2)保管時間は15分以上、所定の場所で行なわれる。
- 3)技術委員はスタートした全ての車両に関し、再車検を行う権限を保有するものとする。  
技術委員が検査を行う際ライダーもしくはその代理人が責任を持って車両の分解及び組立を行わなければならない  
但し関係役員、ライダー及び代理人以外は車検に立ち会うことはできない。
- 4)技術委員が行う本条項の再車検に応じない場合は失格とされる。上記に対する違反は、競技長によって勧告され、大会審査委員会によりペナルティーが科せられる場合がある。

## 第5章 ペナルティに関する事項

### 第28条 ペナルティ

- 1) 警告は、その必要ありと認められた軽反則に対して発せられる。
- 2) 罰金は、成績に対するペナルティまでに至らない程度の違反に適用される。
- 3) ラップペナルティは、失格にならない程度の違反に適用する。
- 4) 順位降格ペナルティは、失格にならない程度の違反に対し、予選ヒート及び決勝レースに与えられる。
- 5) 失格は下記の反則行為に科せられる。
  - (1) 違法または不当に得たアドバンテージ。
  - (2) 故意に自己または他人の安全をかえりみることなく行う危険行為。
  - (3) 与えられたオフィシャル指示を故意に無視した場合に科せられる。
  - (4) 与えられたフラッグサイン無視。
- 6) ポイントの剥奪及び出場停止は、下記の反則行為に科せられる。

本大会及び他のコースにおいて重大な違反を犯したライダーに対して適用される。
- 7) フライングスタートした選手は、レース終了後に所要時間に30秒加算が科せられる。(タイムペナルティ)
- 8) **車載カメラについて、車載カメラを搭載する場合は必ず主催者に申請し、カメラ装着状態で車検を受けること。**

カメラ固定の為のステー追加、ワイヤリングなどを施し転倒時に影響を及ぼさない場所に、脱落、破損しないように確実に取り付けること。ヘルメットへの装着は、安全上禁止とする。 **脱落した場合は、危険行為として当該ヒート失格とする。**

車載カメラで撮影したものは私的鑑賞目的に限られ、競技の抗議資料としての利用は認めない。また営利目的での撮影を禁ずる。

## 第6章 抗議に関する事項

### 第29条 抗議

参加者は自己が不当な処置をされていると考えられる時、競技長を経由し大会審査委員会あてに理由を明記した文書によって抗議することが出来る。また、抗議に対する裁定は大会審査委員会が下したものを最終決定とする。

主催者の判定に異議がある場合は、書面をもって抗議料を添付の上、競技長を経由して大会審査委員会に提出するものとする。

抗議提出の時間制限

- ① 競技に関する抗議: 当該、暫定結果発表後20分以内
- ② 車両に関する抗議: 自己のバイク車検終了後15分以内。

### 第30条 抗議料 ￥10000円

## 第7章 成績及び賞典に関する事

### 第31条 成績決定および賞典。

- 1) 決勝ヒートの順位により決定する。
- 2) 3台未満の場合、他クラスと混走したクラスは、楯の授与のみ。正賞および副賞は無いものとする。

\* 4台未満のポイントについては、半分のポイントとする。
- 3) ターミネーターミニ 2st/4st、M3エンジン 50/茂原 150 SP/茂原 150 KayoMR150、クラス 別表彰。

クラス別賞典の内容は楯の授与。ターミネーターミニ 2st/4st、M3エンジン 50/茂原 150 SP/茂原 150 Kayo MR150
- 4) 出走台数により賞典を制限する。(別表 賞典表を参照)

賞典表

出走台数	3~4	5~8	9~13	14~18	19~
賞典	1位まで	3位まで	4位まで	5位まで	6位まで

## 第32条 シリーズ得点基準 ※対象レースのみ

シリーズレースとして開催された全 5 戦の全てのポイント合計によりシリーズ順位を決定する。

●シリーズの成立は、5 戦中4戦が成立しない場合は、年間シリーズの賞典はあてはまらない。

●シリーズ対象者は、5 戦中3戦に出場しなければならない。

2戦以下の場合、シリーズ獲得ポイントにかかわらずシリーズ対象には当てはまらない。この場合 順位変動がある。

●シリーズ対象クラスは、年間を通じて平均4台以下の場合、シリーズ賞典ではなく特別賞典となる。全て、小数点切り捨て。

## 第8章 得点

### 第33条 得点基準

本レースのライダーに対して与えられる得点は、下表(A)の得点基準を適用する。

また、最終戦は 1.25 倍(小数点以下四捨五入)のポイントが加算される。

得点は、決勝レースの完走者にもみ与えられ、不完走者及び失格者、不出場者にはポイントは与えられない。

表(A)ポイント

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位～
ポイント	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1
最終戦 1.25	25	19	15	13	10	8	7	5	4	3	1

### 第34条 シリーズチャンピオンの認定

上記第7章、第33条の得点基準により各部門の最高得点者を当該部門のシリーズチャンピオンとして認定する。

複数のライダーが同一の得点を得た場合は、

各ライダーが得た上位の回数が多い順(1位の数、2位の数、3位の数以下これに準ずる)に決定される。

順位と回数も同一の場合は、シリーズ最終戦で上位順位を得たものを上位とする。

尚、順位と回数でも同一でいずれもシリーズ最終戦に参加しなかった場合は、最終戦により近い競技会において上位順位を得たものを上位とする。

## 第9章 広告に関する事項

### 第35条 広告

1)ゼッケンプレートに広告を表示することは認めない。

2)オーガナイザーは、下記のものに対して抹消する権限を有し、オーガナイザーが認めたスポンサーのロゴステッカーの表示は、ライダーはこれを拒否することはできない。

(1)公序良俗に反するもの。 (2)政治・宗教に関連したもの。

## 第10章 その他の一般事項

### 第36条 損害の補償

1)参加者は参加車両及びその付属品及びコースの施設、機材、器具に対する損害の補償責任を負うものとする。

2)ライダー、ピットクルーは、コース所有者及びオーガナイザー、大会役員が一切の損害賠償の責任を免除されている事を了解していなければならない。

### 第37条 オーガナイザーの権限

オーガナイザーは、下記の権限を有するものとする。

- 1)参加申込みの受付に際して、その理由を示すことなく拒否することができる。
- 2)大会冠スポンサーの広告を参加車両に貼付させることができる。
- 3)止むを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの登録または変更について許可することができる。
- 4)全てのライダー/ピットクルー及びその参加車両の音声、写真、映像などの報道、放送、出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。

### 第38条 大会の延期及び中止

オーガナイザーは大会の一部あるいは全部を延期、中止またはとりやめる事ができる。

天候などにより中止になる場合は事務手数料 1,500 円+お見舞金 ¥600 をさしひいた金額を返還される。

( ライディングスポーツ保険加入者は、事務手数料のみとする )

尚、ライダーは、これによって生ずる損失についてオーガナイザーに抗議する権限を保有しない。

さらに、オーガナイザーは大会審査委員会承認を得て、大会の内容を変更する権限も併せて保有するものとする。

これに対する抗議は認められない。

### 第39条 公式通知の発行

本規則に記載されていない競技運営上の細則や参加者に対する指示、本規則発表後に生じた必要指示事項は公式通知掲示板にて示される。

### 第40条 誓約書の署名

ライダーは参加申込用紙に記載された誓約文に署名捺印しなければならない。

### 第41条 本規則の解釈

本規則の解釈並びに競技の細則に関する疑義については、事務局宛に質問できる。

### 第42条 本規則の違反

本規則に対する違反は、大会審査委員会の決定により宣告される。

### 第43条 本規則の効力

本規則は、参加申し込み受付と同時に効力を発する。

### 第44条 燃料

(1)通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている無鉛ガソリンを使用しなければならない。

\*MOBARA OPEN,S-1.S-1PRO を除く

(2)ガソリン及びエンジンオイルについて予告なく抜き打ち検査(タンク内の燃料を採取する等)を行う場合がある。

この場合、ライダーは必ずその指示に従わなくてはならない。尚、採取したタンク内の燃料を所定の検査機関に出し、違反が認められた場合、検査費用はライダーが負担するものとする。

(3)オーガナイザーはガソリン及びエンジンオイルの銘柄指定及び給油方法を指定する場合がある。

この場合の詳細事項は公式通知に示す。

### 第45条 給油

レース中の給油は、特別規則に規定されている場合を除き、禁止される。ピットに燃料を保管する場合は消防法に適合した金属製の携帯缶に保管する事とし、総量20リッター以上の燃料を持ち込んで서는ならない。

## 第11章 お見舞金制度

### 第46条 お見舞金

(1)競技会に参加するライダーはオーガナイザーが付保するバイクレースに有効な保険、お見舞金に加入している事を大会事務局に申告すること。

1.お見舞金額

- 死亡 ￥500万まで（事故日より180日以内に、死亡したとき）
- 後遺障害 ￥500万まで（事故日より180日以内に、障害の程度に応じて支払う）
- 入院日額 ￥5000/1日（事故日より180日程度）
- 通院日額 ￥2500/1日（事故日より180日以内で90日分程度）

2.ご加入対象者

- ①ライダー ②ピットクルー関係者(任意加入)

3. お見舞金お支払い対象

- ①お見舞金制度ご加入者であること。（死亡見舞金の受取人は、法定相続人となります。）
- ②ご加入当日の事故で、当施設を利用中の事故であること。 ③医師の治療を受けたこと。
- （当日中に、当施設事務局まで事故報告してください。1週間以上遅延しますと、お支払いの対象とならない場合があります）

\*本制度は、治療費、入院費等の実費をお支払いするものではなく、治療日数を基本にした定額払いです。

2023年度 MOBARA MOTO WEST GP シリーズ表彰スカラシップ

シリーズチャンピオン	シリーズ 第2位	シリーズ 第3位
西コース1年間無料走行券	西コース 6ヶ月間無料走行券	西コース 3ヶ月間無料走行券

- 無料走行券の有効期間中のライダーは、お見舞金¥600が別途掛かります。
- シリーズチャンピオン対象者のみ、2024 茂原 MOTOWESTS-1 GP のエントリーフィーをサポートとする。

該当クラス 1クラスのみレースとし、

\*参加のライダーは、登録料¥1500 +お見舞金¥600

\*チャンピオンのピットクルーは、登録料¥500+お見舞金¥600が別途必要となります

\*茂原サイドカークラスのシリーズチャンピオンは、1チーム 登録料¥3000 + お見舞金¥600x人数

【 別表 賞典表 】

下記の 2000 円 1000 円割引券は全て1枚づつとなります。

19台～	優勝	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
	楯 走行券 2枚	楯 走行券 1枚	楯 2000円割引	楯 2000円割引	楯 1000円割引	楯 1000円割引
14～18台	優勝	第2位	第3位	第4位	第5位	
	楯 走行券 2枚	楯 走行券 1枚	楯 2000円割引	楯 1000円割引	楯 1000円割引	
9～13台	優勝	第2位	第3位	第4位		
	楯 走行券 1枚	楯 2000円割引	楯 1000円割引	楯 1000円割引		
5～8台	優勝	第2位	第3位			
	楯 走行券 1枚	楯 2000円割引	楯 1000円割引			
3～4台	優勝					
	楯 1000円割引					

## 「 2023 年度 MOBARA シリーズ表彰式について 」

各シリーズ上位3選手・チャレンジポイントランキング1位の選手が表彰対象となります。

S-1PROクラスへ昇格者、表彰パーティーにご招待いたします！

茂原で開催されているシリーズランカー達が一堂に集まる表彰パーティーです。

豪華商品の抽選大会・楽しいアトラクション等も有り！

シリーズチャンピオン目指してがんばりましょう！！

### ———— チャレンジポイントランキング 対象クラス ————

ターミネーターミニ 2st・4st / MOBARA 4st50cc スクーター(FN4-50)

M1 / S-1 / 茂原レディース / 茂原 150 / KayoMR150 / MOBARA SP ビギナー

### ———— シリーズ対象クラス ————

PB イーグル / 74Daijuro / GROM CUP 4/5 HRC Trophy

NSF100 HRC Trophy JC/GC / MOBARA SP / MOBARA OPEN

茂原インポートミニ 125/茂原 150SP/ S-1 PRO /MOBARA サイドカー

### ———— スカラシップ シリーズ賞典内容 ————

## シリーズ優勝

2024 年度 1年間無料走行を茂原がサポート&2024 年度エントリー無料

参加申し込みには別途、登録料・お見舞金・ピットクルー登録料が掛ります。

但し、該当クラス 1クラスのみ

**シリーズ第2位** 6ヶ月間無料走行券 ( お見舞金が掛ります )

**シリーズ第3位** 3ヶ月間無料走行券 ( お見舞金が掛ります )

### ———— 特別賞典内容 ————

年間を通じて平均4台以下(小数点切り捨て)のシリーズ対象クラスは、特別賞典に変更し授与する。

シリーズランキング 1位の選手…無料走行券 5枚 \*1年間無料走行の授与はございません。

2位の選手…無料走行券 4枚 3位の選手…無料走行券 3枚

2023年2月28日 変更

2023年3月1日 実施